

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.1-13)

<b>件名</b>	ミキサ・セトラの内部循環用の真空配管における詰まり(分離建屋)							
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所・機器      分離建屋:ミキサ・セトラ(溶媒再生工程)</p> <p>(2) 発生の状況          ミキサ・セトラの運転中</p> <p>(3) 概要                    ミキサ・セトラ内の内部循環用の真空配管が析出物により詰まり、内部循環量が少なくなり界面が低下</p>							
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響      <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋塔槽類廃ガス処理設備が稼働している溶媒洗浄器内で起きた事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響      <b>安全上の問題は生じない。</b> 溶媒洗浄器内の水相液位変動を液位計が検知、内部循環は真空系が詰まることにより停止するので、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響      <b>作業員への影響は生じない。</b> 溶媒洗浄器の復旧作業は、セル外からの作業なので、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響      <b>他工程への影響は生じない。</b> 溶媒再生工程を一時停止し、真空系を水洗して、詰まり除去後、運転再開を行うので、他工程への影響は生じない。ただし、詰まり除去に時間を要する場合は、工程内に設置している一時的な貯留槽の残液量で運転継続の可否を判断する。</p>							
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 界面低下の原因を調査し、溶媒洗浄器内の内部循環系統の真空配管に詰まりが生じていることを確認する。</p> <p>(2) 溶媒再生工程を一時停止する。</p> <p>(3) 定められた保守作業手順に従って、水相循環系統の真空系を水洗して詰まりを除去する。</p> <p>(4) 水相循環系統の真空配管の詰まりが除去されたことを確認した後、定められた操作手順に従って運転を再開する。</p>							
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)							
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル  </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転系統を切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 	(b) 運転系統を切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止	日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 							
(b) 運転系統を切り替えて復旧								
(c) 当該機器を停止して復旧								
(d) 当該設備を停止して復旧								
(e) 影響範囲の設備を停止								

